

## ■ 第16期（2018年度）の講座の中で、「1日体験入学」が可能な講座です

講師の都合などで日程・会場などが変更になることがあります

講座日	テーマ	講師(敬称略)	会場・場所	講座の内容
6月13日(水)	磯の生き物調査と観察の仕方	田中広樹	長松海岸(岬町)	干潮の磯で様々な生き物を観察し、大阪湾の環境について考える
7月25日(水)	淀川汽水域の環境と生き物	河合典彦	十三干潟	淀川の歴史を学び現況を知る。干潟の出現した汽水域で生き物を観察する
8月8日(水)	ツバメの <sup>ねぐら</sup> 入り	高田直俊	京阪観月橋駅(夕刻時間講座)	宇治川(向島)にて約3万羽のツバメのねぐら入りの観察をする
8月22日(水)	信太山丘陵の保全－湿地環境と植生	田丸八郎	信太山丘陵	信太山の自然を守る運動から、保全運動の理念・目標、具体的な運動手法などを学ぶ
9月15日(土)	野生動物との共存	鳥居春己	奈良公園	奈良公園のシカを軸に人と野生動物とのかかわりを考える
10月17日(水)	金剛山の環境と植生	佐藤治雄	金剛山	金剛山山頂付近の植生・樹木を低地との違いを視野に入れながら観察する
10月24日(水)	昆虫の生態と生息環境	松本吏樹郎	淀川	昆虫を観察してその生息環境を知り生態系の中での役割を考える
11月14日(水)	秋の植物観察－ドングリを中心に	木村 進	泉北・光明池	植物の生活史と生存戦略について学ぶ
11月21日(水)	きのこ・菌類の分類と役割	澤畠拓夫	近畿大学農学部	菌根菌の生態的役割・キノコの分類と同定方法について学ぶ
12月5日(水)	淀川の自然環境復元	高田直俊	淀川左岸樟葉～枚方へ	生き物や復元されたワンドを見ながら、水域環境の現状と課題を考える
12月15日(土)	渡り鳥飛来地の復元	高田直俊 関優	南港野鳥園	南港野鳥園の歴史と現況を知り、鳥の飛ぶ仕組みや干潟の渡り鳥の生息環境を見る
1月16日(水)	里山を知る－現状と保全の方法	田淵武夫	富田林・奥の谷	長年、保全活動を継続している現場を歩き、自然環境保全の考え方、手法などを体験する
1月23日(水)	里山の哺乳類と生息環境	早川 篤	妙見青貝山	里山にいる哺乳類の生態や環境との関係性を学び、人とのかかわりについて考える

● 受講時間は各講座とも 10:00～15:30 頃（8月8日を除く）原則として雨天決行

※ 野外での活動が中心になりますので、軽ハイキングをする程度の体力が必要です。



第15期 昆虫①(2017.5)



第15期 淀川の河川環境①(2017.8)



第15期 きのこ・菌類(2017.11)

【各講座の写真を市民大学のページ([http://www.nature.or.jp/training/shimin\\_daigaku.html](http://www.nature.or.jp/training/shimin_daigaku.html))内の「自然環境市民大学アルバム」で見ることができます。】

## ■ 第17期(2019年度)自然環境市民大学受講生募集予定

- 講座期間：春夏コース 2019年 4月～9月 17回講座  
 秋冬コース 2019年 10月～翌年3月 17回講座
- 受講料：30,000円(両コース受講の場合、2コース目は27,000円)
- 申し込み：2018年11月より受付開始



(第16期秋冬コース(2018年度))は只今受付中 9月末まで 先着順)